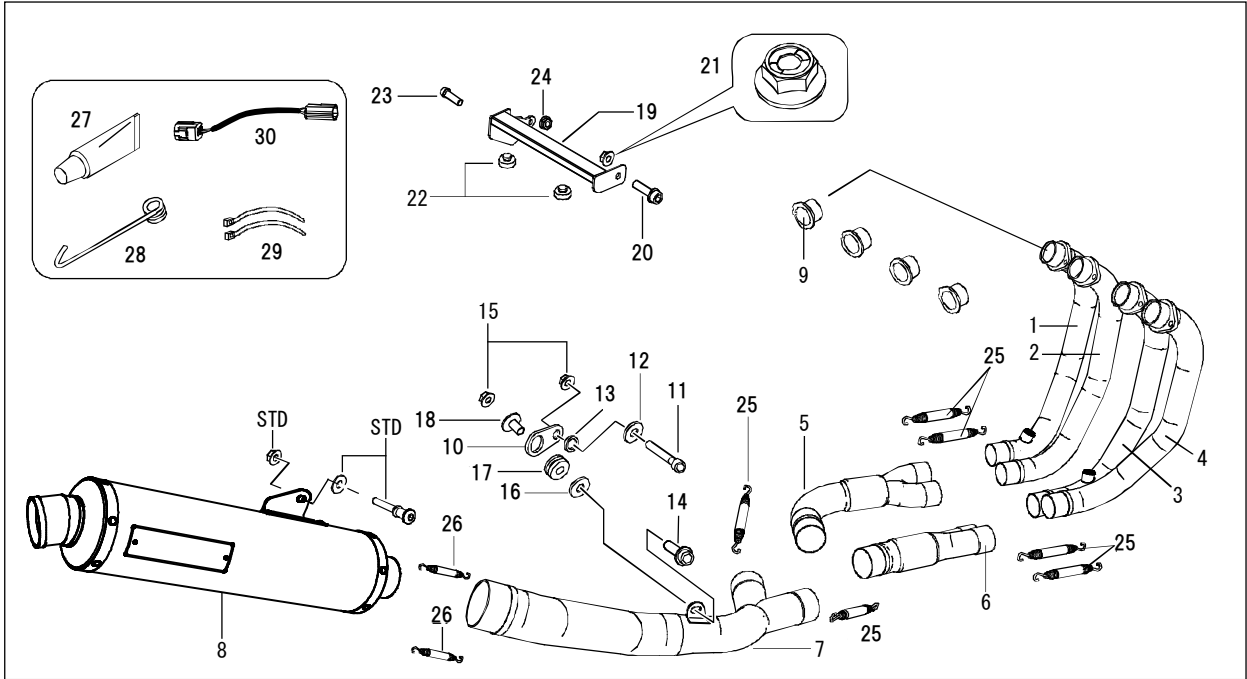


# MORIWAKI ZERO ANO/WT FULL EXHAUST SYSTEM '18- CB1300 SF/SB 01810-L31Q3-10/01810-L21Q3-10

【構成部品】



図中の部品番号「STD」とは、純正部品の事であり、純正部品を流用して取付ける意味です。

No.	部品番号	商品名	入数
1	18110-L31Q3-10	フロントパイプ #1	1
2	18120-L31Q3-10	フロントパイプ #2	1
3	18130-L31Q3-10	フロントパイプ #3	1
4	18140-L31Q3-10	フロントパイプ #4	1
5	18210-L31Q3-10	ミドルパイプ L	1
6	18220-L31Q3-10	ミドルパイプ R	1
7	18230-L31Q3-10	テールパイプ	1
8	18910-L21Q3-10	サイレンサー (WT)	1
	18910-L31Q3-10	サイレンサー (ANO)	1
9	18117-L3181-00	マウスピース インナーカラー	4
10	18240-L3190-00	テールパイプサブステー	1
11	96601-08050-90	キャップボルト 8×50	1
12	030A-08160-1100	ワッシャー 小8	1
13	0311-08140-4100	カラー 14×8×4	1
14	972010-08030	フランジキャップボルト 8X30	1
15	982010-08000	フランジナット 8	2

No.	部品番号	商品名	入数
16	0311-08250-5100	カラー 25×8×5	1
17	0312-17250-DR00	グロメット	1
18	0312-11250-F010	グロメットカラー	1
19	50560-L3190-01	スタンドストッパー	1
20	972010-08015	フランジキャップボルト 8×15	1
21	980010-08000	フランジロックナット 8	1
22	50524-MN8-000	スタンドストッパーラバー	2
23	972010-06015	フランジキャップボルト 6×15	1
24	982010-06000	フランジナット 6	1
25	18335-90877-30	スプリング(SUS)	6
26	18335-90607-20	スプリング ショート	2
27	860-806-0600	ME30 (シールバンド)	1
28	3A32-00000-00T0	スプリングプラー	1
29	90650-35150-10	セルフロックバンド150 BL	4
30	36352-651L6-00	延長カプラー	1
取扱説明書			1
自動車排出ガス試験結果証明書			1

製品名	MORIWAKI ZERO FULL-EXHAUST	商品重量	5.65 kg (STD 11 kg)
適合機種	HONDA 18CB1300 SF/SB (2BL-SC54)	オイル交換	本製品脱着不要
インジェクション	純正状態	オイルフィルタ	本製品脱着不要
エンジン仕様	純正状態	JMCA 認定番号	JMCA 1119007097
排気音量	近接騒音 94dB 加速騒音 79dB	その他	
	近接排気騒音規制値 99dB(相対値)		

※規制値については JMCA ホームページをご確認ください。

URL : <http://jmca.gr.jp/>



## 【使用工具】

- ・ソケットレンチ：8mm、12mm、・ユニバーサルジョイント、・エクステンションバー
- ・スパナ：10mm、12mm、17mm（又はフレアナットソケット17mm）・六角レンチ：5mm、6mm
- ・軍手、ウエス、脱脂洗浄剤、モリワキレーシング整備マット等

## ⚠ 注意

- ① 本説明書は、基本的な車両整備の知識や技能のある方を対象に解説しております。また車両のサービスマニュアル書も参照の上、作業が必要となります。
- ② 作業する時は、けが、やけど防止のため、軍手を着用して下さい。
- ③ 作業するときはエンジンを十分冷ましてから行なって下さい。やけどする恐れがあります。
- ④ 走行時に脱落などのトラブルが発生しないよう、各部の締め付けを十分確認して下さい。
- ⑤ 走行中振動によりボルト類が緩むことがありますので、必要に応じて増し締めを行って下さい。特に転倒後には、緩みやすくなりますので必ず点検して下さい。
- ⑥ 取り付け後、排気漏れの確認等でエンジンを始動する場合、周囲の安全を確認し、また通気の良い場所で行って下さい。
- ⑦ 車両にスイングアーム、ステップ等の改造がありますと装着できない場合があります。不正な改造によるマフラー破損等の返品はお受けしておりませんのであらかじめご了承下さい。
- ⑧ 転倒歴のある車両では、取り付けることができない場合があります。確実に取り付けることができない場合には本製品を使用しないで下さい。

## 【純正部品の取外し】

- ① 純正マフラーバンド、サイレンサーステー部のボルトを緩め、サイレンサー部を取外します。

※取外した純正サイレンサーステー部のボルト、ナット、ワッシャーは再使用します。

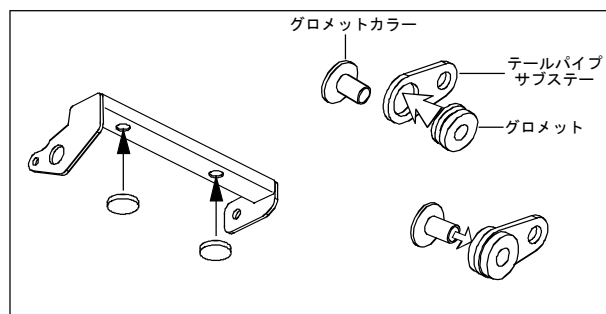
- ② ラジエーター下側のボルト2本を外します。
- ③ エンジンポート部のエキゾーストフランジ（以降EXフランジ）部、エンジン下部のステー部のナット、ボルトを緩め、マフラーを取外します。

### ⚠ 注意

純正マフラーは大変重いため取外す際、落下による怪我や破損等に十分注意して下さい。

## 【製品の取付け準備】

- ① スタンドストッパー（構成部品⑱）に付属のスタンドストッパーラバー（構成部品⑳）を2個取付けます。
- ② テールパイプサブステー（構成部品⑩）に付属のグロメット（構成部品⑰）、グロメットカラー（構成部品⑱）を取付けます。

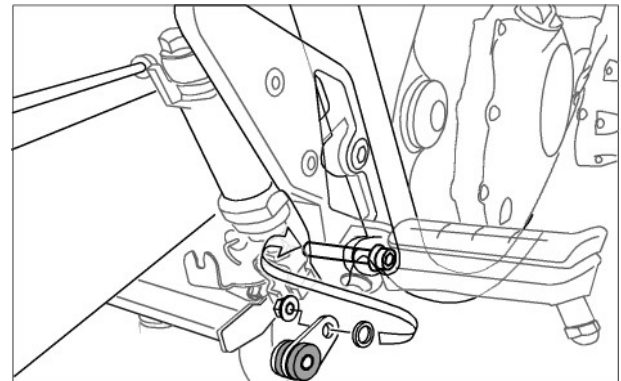
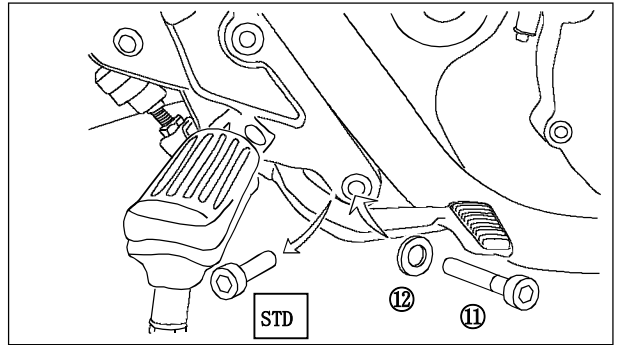
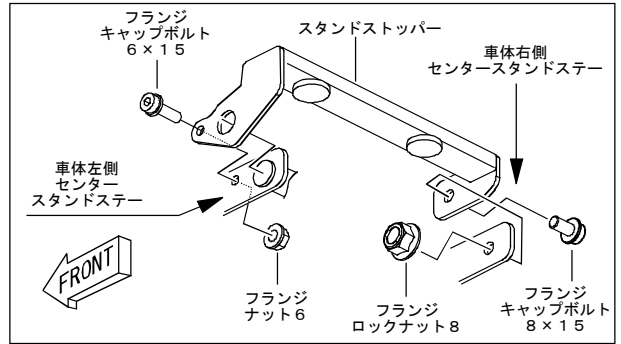


【製品の取付け】

- ① スタンドストッパーを付属のボルト（構成部品⑳・㉓）ナット（構成部品㉑・㉔）で取付けます。
- ② テールパイプサブステーの取付け。

右側ステッププレート下側の純正ボルトを外し、付属のキャップボルト（構成部品⑪）とワッシャー（構成部品⑫）に交換してステッププレートを**仮止め**します。

このボルトのフレーム内側に飛び出した先端に、付属のカラー（構成部品⑬）とテールパイプサブステーを組込み、ナット（構成部品⑮）を使って**仮止め**します。



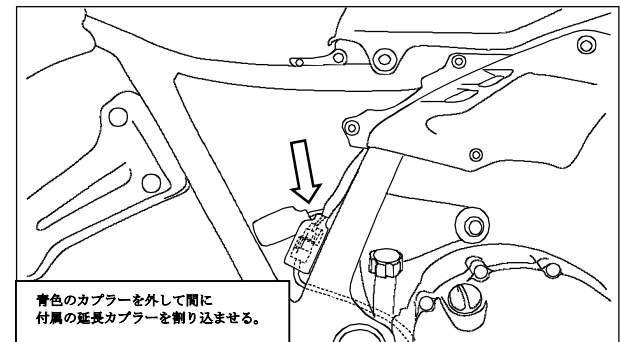
アドバイス

テールパイプサブステーの組込み位置は、非常に狭いので下記の手順をお勧めします。

- A キャップボルト（構成部品⑪）とワッシャー（構成部品⑫）をステッププレートに挿入しフレーム内側から7mm程度つき出た位置まで締付ける。
- B カラー（構成部品⑬）とテールパイプサブステーをボルトに通しナット（構成部品⑮）を取付ける。
- C キャップボルト（構成部品⑪）を六角レンチで回転させナットもボルトを通していく。
- D ボルトの頭が奥まで入ったら締付けてステッププレートを固定させる。
- E ナットをスパナで締付けテールパイプサブステーを仮止めする。（完全な締付けは後述の『本締め』の時に行う。）

- ③ 車体右側のサイドカバーを外し付属の延長カプラー（構成部品⑳）を青色カプラーの間に割り込ませて下さい。
- ④ フロントパイプにマウスピースインナーカラー（構成部品⑨）を差し込み、純正の袋ナットを使用して、車体に仮止めします。

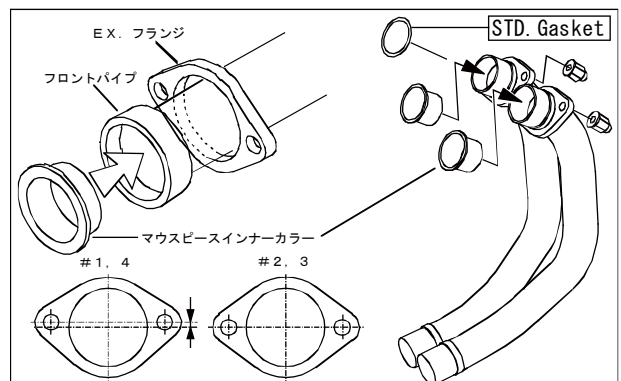
※ #1, #3 パイプは先に O2 センサーを取付ける。



フロントパイプ # 1 と # 4 はフランジの穴が中心線よりずれていますので、穴位置に注意して下さい。

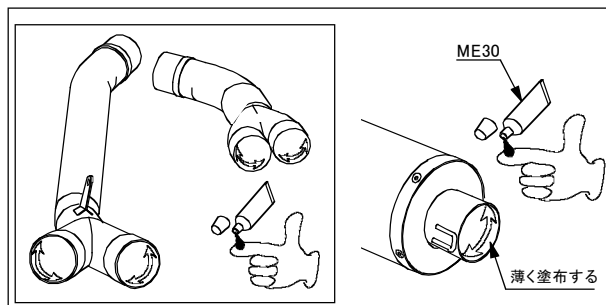
仮止めは、かなりゆるめにしてください。テールパイプ組み付け時の作業性を良くする為です。

フロントパイプの取付け時にガスケットが劣化、損傷していないか確認をしてください。



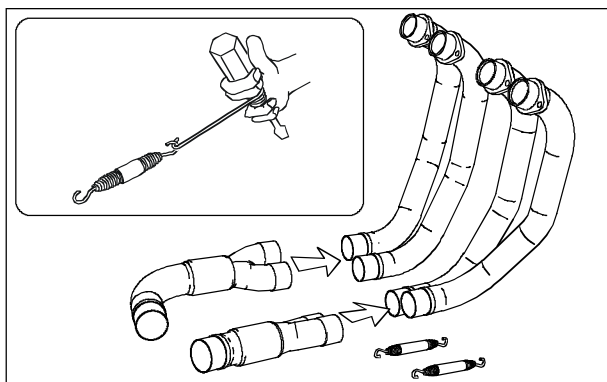
## ⑤ ミドルパイプの取付け

- ・ジョイント部に付属のME 30（構成部品⑳）を薄く塗布し組付けます。
- ・付属のスプリングプラー（構成部品㉑）でスプリング（構成部品㉒）を取付けます。



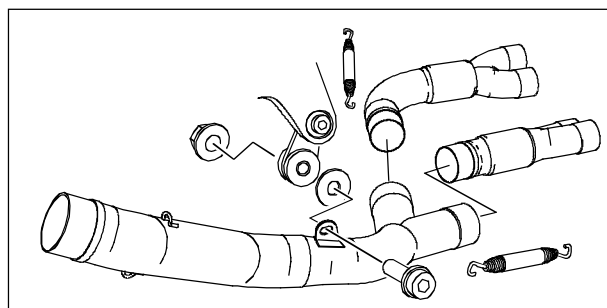
## ⑥ テールパイプの取付け

- ・ジョイント部に付属のME 30を薄く塗布し組付けます。
- ・付属のスプリングプラーでスプリング（構成部品㉒）を取付けます。
- ・テールパイプのステーをテールパイプサブステーに付属ボルト（構成部品㉓）、ナット（構成部品㉔）で付属のカラー（構成部品㉕）と共に仮止めします。



## ⑦ サイレンサーの取付け

- ・ジョイント部に付属のME 30を薄く塗布し組付けます。
- ・付属のスプリングプラーでスプリング（構成部品㉒）を取付けます。
- ・純正のボルト、ワッシャー、ナットを使用し車体に仮止めします。



## ⑧ 下記の順序で『本締め』をします。

- I EX. フランジ
- II テールパイプステー
- III サイレンサーステー
- IV ラジエター、サイドカバー、O2センサー
- V 付属のセルフロックバンド（構成部品㉖）を使ってO2センサーの線がマフラーに当たらないようにフレームに固定する。

- ⑨ 最後にEXパイプ、サイレンサーの脱脂を行って下さい。  
脱脂を行なわない場合、パイプの焼けにムラができます。

## 【確認】

## エンジン始動直後の確認

- ・ジョイント各部から排気漏れがないか確認します。
- ・サイレンサー出口から白煙が出ますが、15分程度で消えます。
- ・サイレンサー入り口の下部より水が出る事がありますが、性能上問題ありません。

## 運転後の確認

- ・各部ボルト、ナットの緩みがないか確認してください。
- ・サイレンサー前方下部に水抜き穴があり、ここから水蒸気、水滴等が出る場合がありますが、性能上問題ありません。

## ⚠注意

取り付け後、排気漏れの確認等でエンジンを始動する場合、周囲の安全を確認し、また通気の良い場所で行ってください。  
熱による火災、排気ガスによる中毒に気をつけてください。  
作業時は、エンジン等が十分冷めた事を確認してから行って下さい。  
火傷に気を付けて下さい。

**【セッティングについて】**

モリワキストリート用マフラーは、すべてスタンダードの状態では性能が発揮されるように設計されています。したがってマフラー装着にともなうインジェクションなどのセッティングの必要はありません。もしマフラー交換に伴う性能悪化が見られるなら、まずエアクリーナーやプラグ等を整備してもう一度確認して下さい。

**【JMCAについて】**

全国二輪車用品連合会（JMCA）は、違法改造部品問題が直接の設立動機となり、警察庁をはじめ、国土交通省の指導のもと不法製品一掃とその製品に歯止めをかける活動をしています。「JMCA認定プレート」にて認可されたマフラーは、（財）日本車輛検査協会の公認検査を受け法規制値をクリアしたうえ、安全をみこした自主規制をも合格した製品です。車検の際は、付属の排出ガス試験結果証明書が必要となりますので持参してください。

**【メンテナンスについて】**

- マフラー取付けボルトの緩み、排気漏れ、転倒による取付け不良などを定期的に点検して下さい。
- パイプのお手入れにつきましては、十分脱脂を行っていただくことが前提となります。走行による汚れにつきましては、市販のピッチクリーナー等をご使用下さい。
- 本製品は、装着したままオイル交換が可能です。

本説明書は末永く保管し、メンテナンス等の機会には、活用するようにして下さい。

製品上の問題点、取付け時の不明点等がありましたら、お気軽にお電話にてお問い合わせ下さい。

記載内容、価格、仕様等は、製品改良のため、予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承下さい。



株式会社モリワキエンジニアリング  
〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町 6656-5  
Tel 059-370-0090 Fax 059-370-0152  
WEBSITE <http://www.moriwaki.co.jp>